

学校だより

【第1号】平成27年5月1日発行

<群馬県立しろがね特別支援学校通信>



新しい歴史の一步を踏み出しました

群馬県立しろがね特別支援学校 校長 荒木 洋子

桜の花は盛りを過ぎたというのに、季節はずれの雪が降る中、平成27年度群馬県立しろがね特別支援学校の入学式が行われました。また、これに先立ち、前日には開校記念式・始業式が行われました。児童生徒の皆さん、入学・進級おめでとうございます。

さて、本校は、平成27年4月1日群馬県立しろがね特別支援学校として、新たな一步を踏み出しました。児童生徒64名・教職員65名でスタートです。

本校は、教育目標『児童生徒一人一人の能力や個性を尊重し、明るくたくましく生きる人間を育成する。』のもと、教職員が一丸となって、指導・支援に当たります。具体的には児童生徒にとって「楽しい」学校、保護者にとって「信頼できる」学校、地域にとって「理解できる」学校、教職員にとって「働きがいがある」学校をめざして、子どもたちの笑顔と笑い声が響きわたる学校となるよう、最善を尽くしてまいります。今後とも、保護者、しろがね学園の皆様ならびに関係の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



ご入学おめでとうございます

4月8日、中学部と高等部の入学式が行われました。高等部1年生の代表生徒が、中学部3名、高等部22名の入学生代表として、「誓いの言葉」を述べました。しっかりとした口調で述べている様子が、しろがね特別支援学校の新年度の始まりを伝えていました。

